

素晴らしい活躍でした ～八代中体連総合体育大会～



6月24日(土)25日(日)に八代中体連総体が開催されました。本校からは、野球、男女ソフトテニス、女子バレー、剣道、男女バドミントン、柔道の6競技8種目に参加しました。保護者の皆さん方の応援や、登校の対応などありがとうございました。

県大会出場者の紹介を含め、結果は以下のとおりです。

- 野球:1回戦敗退 ○女子バレー:3位
- 男子ソフトテニス:団体準優勝 個人3位(武末峻汰・杉島海翔)(県出場)
- 女子ソフトテニス:団体ベスト8 個人2回戦敗退
- 剣道:個人3位 武原杏樹(県出場) ○柔道:個人1回戦敗退
- 男子バドミントン:団体準優勝(西翔輝・谷川昇吾・廣瀬篤弥・廣瀬瑞起・橋本凌太郎)(県出場)
個人3位
- 女子バドミントン:団体2回戦敗退 個人ベスト8



野球の試合開始です。



※個人戦は最高位を掲載

今年は、優勝こそありませんでしたが、どの種目も、最後まで諦めない立派な戦いぶりでした。また、日曜日は登校日であったため、総体に出場しない生徒のご家庭では、普段の日曜日と違い、お子さんを学校へ送り出していただきました。ありがとうございました。あいにくの雨で、登校生徒全員で野球の応援に行くことはできませんでしたが、女子バレーの準決勝を、学校の体育館を使ってパブリックビューイングで応援することができました。見ていた生徒達も、女子バレー部の粘り強い懸命な姿に感動していたようでした。



「中体連はどうしてこのように人を感動させるのか。」それは、中学生の沢山の「一生懸命」に触れることが出来るからだと思います。

一つ一つの勝負に当然ながら勝敗があります。勝ちたいという思いで一生懸命勝負に臨むと、回りを感動させる筋書きのないドラマが生まれます。ですから、たとえ勝負に負けたとしても、多くの人を感動させるとともに、力を出し切った達成感を味わうことができるのです。そのような経験の一つ一つが、中学生を成長させていきます。一生懸命な姿を見せることで、多くの人を感動させる中学生のパワーはやはりすごいですね。

七中には、総体には参加していなくても、美術部をはじめ、社会体育(野球、サッカー、ダンスなど)や文化活動(合唱団や各種習い事など)で頑張っている生徒も沢山います。七中生一人一人が、一生懸命何かに取り組む経験を通して、人を感動させ、自分自身も大きく成長する可能性を秘めた素晴らしい存在であることを改めて自覚してほしいと思います。



これから、NHK合唱コンクール、体育大会、中体連駅伝、文化祭と、感動体験とともに生徒達の成長を感じられるイベントが待っています。子どもたちから感動をもらい、親も教師も共に成長したいものです。

ハンセン病について勉強してみませんか。

ハンセン病に対する偏見や差別の解消のため、菊池恵楓苑で学ぶ旅が実施されます。

日時：令和5年7月25日(火)、令和5年8月24日(木) 8:30～15:30(県庁発着のバスが出ます)

内容：入所者の方の講話、園内見学等 応募〆切：令和5年7月3日

※詳しくは熊本県のホームページをご覧ください。ご案内が遅くなり申し訳ございませんでした。